

震災がれき

# 宮城・岩手と確認書

## 知事ら受け入れへ締結

鈴木英敬知事と市長会長  
の亀井利克・名張市長、町

村会長の谷口友見・大紀町  
長が27日、宮城、岩手両県

庁を訪れ、村井嘉浩宮城県  
知事、達増拓也岩手県知事

と東日本大震災のがれき受け入れに向けた「確認書」を交わした。これを受けて各市町は、がれきの処理を順次検討することになる。確認書は、がれきの広域処理について、県が独自に策定しているガイドラインの素案に基づく。県内で受け入れるがれきは、木くずや廃プラスチックなどの可燃物とし、宮城、岩手両県に対して、がれきを受け渡すまでの安全の確保を求めると、責任分担を明確にした。

両知事との会談で、鈴木

知事は「三重県をあげて応援していきたい」と協力姿勢を表明。宮城県の村井知事は「この恩は、今度何かあったときに倍にして返したい」。岩手県の達増知事も「復興に向かって大きな前進になる」と感謝した。

県のガイドラインの素案によると、確認書の締結後、各市町はがれき処理の態勢を検討し、住民への説明も始める。一方で県は、国と協議した上で、がれきを焼却した後の灰の処分先の確保に乗り出すことになる。